

教師ノート

週課	第三年 第四課 第一週
単元	イースター
テーマ	悲しみと苦しみを知っておられる主
タイトル	イエス様の逮捕
テキスト	ヨハネ 18:1—19:16
参照箇所	マタイ 26:47-56,マルコ 14:43-50,ルカ 22:47-53
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	イザヤ 53:12
AG 日曜学校教案参照箇所	

□導入

みなさんは、信頼していた友だちに裏切られた事がありますか？ どんな気持ちでしたか？
そういう時は、悔しくて、悲しくて、もう誰も信じたくない気持ちになりませんでしたか？
実は、イエス様は信頼していた人たちに裏切られたのです。それだけではありませんでした。

□ポイント1 兵士達がイエス様を逮捕しにやってきました

祭司長やパリサイ人が集まって何か話しています。そこには、たくさんの兵士達もいました。今から何が起こるのでしょうか？…実は、イエス様を今から捕まえに行く相談をしていたのです。武器を持って、イエス様のおられる所まで行こうとしています。

案内をしているのは…なんとイエス様のお弟子さんのユダです。(マリヤの香油の時の事を思い出させて下さい。) ユダは、イエス様を裏切ってわずかなお金と引き換えにイエス様を祭司長やパリサイ人に売ったのです。ユダは、イエス様と食事をしていたのですが、途中で抜け出して、祭司長やパリサイ人のところに行ったのです。そして、イエス様のおられる場所まで、兵士達を案内しました。

その場所につくと、暗くてイエス様の顔を知らない兵士もいたので、ユダはイエス様に近づいて、ど
の人がイエス様かを教えたのです。

そこにいたお弟子さんたちは、ビックリしたでしょう。まさか、ユダがイエス様を裏切るなんておもって
いなかったでしょうから。ペテロは、自分の持っていた剣で戦おうとして、兵士の一人でマルコスとい
う人の耳を切り落としました。でも、イエス様は、ペテロのした事を喜びませんでした。その人の耳をい
やされ、今からご自分のしなければいけないことをペテロに伝えたのですが、ペテロには、今一つよく
わからなかったようです。

□ポイント2 ペテロはイエス様を知らないといいました。

ペテロは、イエス様のことが心配だったので。大祭司の家までついて来ていました。最初、門
の所に立っていると「あなた、イエス様の弟子でしょう?」と言われ、「違います」と答えてしまったので
す。今度は、火にあたっていた時、「あなたもイエスの仲間でしょう?」と言われ、また否定してしまった
のです。耳を切り落とされた人が「あなたは、あの場所にいたじゃないですか」と言われ、また違うと言
ったのです。(ルカの記述には、ペテロが三度否定した時に、「主が振り向いてペテロを見つめた(ルカ
22:61)」とありますので、イエス様にペテロの声が届いていたと考えられます)

イエス様は、ペテロが自分を「知らない」と三度言った事を知っておられました。前にもペテロに言っ
た事があります。でも、その時は、「自分はゼツタイ裏切らない!」と言っていました。

ペテロがイエス様を知らないと言っている声を聞いたイエス様は、どんなお気持ちだったでしょうね。

ペテロは、悲しくなってすごく泣きました。本当に悲しかったのです。

一方、大祭司の庭では、イエス様を尋問していました。まだ夜中だというのに、みんな集まってイエ
ス様を訴えていました。なんといっても、祭司長やパリサイ人達には、悪いたくらみがありました。

□ポイント3 イエス様はピラトに訴えられました

祭司長やパリサイ人達は、イエス様をなんとかして死刑にしようとしていました。理由は、イエス様がいと自分たちに都合が悪いからです。たくさんの人にウソの証言をさせました。

(ここは、他の聖書箇所を読み合わせて、話して下さい。)

そして、イエス様を死刑にするためにピラトという人に訴えたのです。この人は、この地方を治めていたローマ人です。ユダヤ人達が、イエス様の事をいろいろ訴えるので、イエス様に会って話をしました。

ピラトは、イエス様に質問しました。「あなたはユダヤの王ですか？」

イエス様は「その通りです。」と答えられました。(上級生は、:33-38を読んでイエス様の言われたことについて話すと良いでしょう。イエス様をご自分について何とっておられるのか、考えてみましょう。)

ピラトには、イエス様には罰を受ける罪がない事がわかっていましたから、なんとかイエス様を助けようしました。そこで一年に一度、一人だけ釈放することが出来る制度を利用することにしました。ピラトは、イエス様を釈放しようががんばってみたのですが、人々はイエス様を釈放するどころか「バラバを赦せ!」「十字架につけろ!」と、叫んだのです。なんとか助けようとしていたピラトは、とうとうユダヤ人の声に負けてしまいました。イエス様をユダヤ人の要求通り、十字架につけることを許可してしまったのです。

イエス様は、十字架にかかることがご自分の使命だと知っておられました。だから、何も言わないで十字架にかかれることを受け入れたのです。

□結論 イエス様をご自分の目的を知っていました

暗唱聖句を読み上げます

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

イエス様は、何も悪い事はしていませんでした。でもイエス様は、ご自分が十字架にかかって死ぬ事が、私たちの救いのためのただ一つの方法だと知っておられたのです。本当なら、いくらでも無罪になる方法があったでしょう。でも、イエス様はご自分の目的のために黙って十字架への道を進まれたのです。

あなたは、信頼していた友だちに裏切られて、悲しい、悔しい思いをしたことがあるでしょう。イエス様も、そうでした。イエス様は、あなたの心の悲しみを全部知っておられます。イエス様も、あなたが感じている悲しみや苦しみを全部、いやそれ以上に味あわれたのです。

だから、あなたの心の痛みも叫びも分って下さるのです。何でもイエス様に祈って下さい。あなたの心の痛みを取り除くために、こんな不正な裁判も耐えられたのです。

もし、イエス様が自分の無罪を主張して、十字架にかかる事を拒否したなら、私たちが赦されて、心が解放されることはなかったでしょう。この十字架は、あなたのためだったのです。

イエス様は、あなたのために黙って不当な裁判を受け、十字架にかかられました。それは、あなたを愛しているからです。いのちがけの愛です。お祈りしましょう。